Blendtec®

blendtec.com/commercial | Stealth

取扱説明書

目次

セクション1: 重要なセーフガード	1
セクション2: コンポーネント概要	3
セクション3: 開封	5
セクション4: 据付	6
セクション5: 操作	8
セクション6: トラブルシューティング	18
セクション7: お手入れ	19
セクション8: 保証と保守	21
付録: カウンター上部穴テンプレート	24

セクション1: 重要なセーフガード

Blendtec® Stealth™マシンをお使いになる前に、説明書すべてをよくお読みください。

1.1 安全性認定

Stealthブレンダーおよびアクセサリは、2012/01/31発行のUL基準 (ANSI/UL 763) および1987/03/01発行のCSA基準C22.2第195についてETLに認定されています。

1.2 健康認定

Stealthブレンダーおよびアクセサリは、NSF Internationalの認定です。

1.3 可動部には触れないようにする

可動部すべてから、手、髪および衣服は離すようにしてください。操作中、道具はすべて、ドライブソケットおよびブレンダーブレードから離すようにしてください。ブレンダーの作動中は、ブレンダージャーに手を入れたり、または手でものを加えたり絶対にしないでください。ブレンダーモーターの作動中は、ドライブソケットに絶対ジャーを入れないください。作動中、ブレンダーを振動しないでください。操作が完了するまで、ブレンダージャーはまっすぐ上向きにしてください。これらの注意事項に従うことで、身体の怪我およびまたはブレンダーの損傷を防ぐことができます。

1.4 電源コードに関する注意事項

電源コードや差込部分が損傷した状態でマシンを作動させないでください。コードが損傷している場合は、危険を避けるため、Blendtecまたは認可された保守代理店で交換してもらってください。コードは作業面の端にひっかけておかないでください。本装置では、延長コードは使用しないでください。遮音器具を取り外す、位置を変更する、または洗浄する前には、ブレンダーの電源を抜いてください。

1.5 電源コードのレセプタクル

ブレンダーの電源であるコンセントが正常であることを常に確認してください。

1.6 電気回路に関する注意事項

ブレンダーを同じ回路上で他の電気機器は使用しないでください。使用した場合、回路の過負荷となり、ブレンダー電子回路が損傷したり、または回路保護が無効になったりします。

1.7 水による損傷および不正使用

モーターベースに水分が入らないようにすることは不可欠です。モーターベースは水分が入らないように設計されています。ただし、大量に漏れたりお手入れの方法が適切でない場合（セクション7を参照）、モーターハウジングに水分が入ってしまう可能性があります。モーターのカウンター周囲や遮音器具ベース（使用している場合）の下に少しでも水がこぼれたら、すぐにふき取ることが重要です。そうしないと、モーターに水分が入り

込み、早期故障の原因となります。このような故障の原因は、不正使用とみなされ保証対象とはなりませんのでご注意ください。

1.8 ブレンダーブレード

ブレンダーブレードは非常に鋭利なため取扱には十分注意してください。

1.9 ブレンダージャー内での使用に適さない素材

金属（工具類など）、岩、またはその他硬いものはブレンダージャーの中に入れないでください。怪我や損傷の原因となることがあります。このような素材が原因で損傷が発生した場合、保証は無効となります。

1.10 ブレンダーの蓋の使用

ブレンダー内の材料がジャーから飛び出して周囲が汚れるのを防ぐために、混合中はブレンダージャーの蓋をしっかり閉めてください。

1.11 Blendtec社製以外の付属品

Blendtecが販売する付属品以外をブレンダーと併用しないでください。そのような附属品を使用すると保証は無効となり、火事、感電または怪我の原因となることがあります。

1.12 長時間使用した後の金属ベースへの接触

無数のサイクルによって、ブレンダーの金属ベースが熱くなっていることがあります。長時間使用した後、ベースには触れないようにしてください。

1.13 モーターベースのお手入れ

水噴射を使用してブレンダーベースを洗浄したり、ベースを水につけたりしないでください。そうした場合は、保証が無効となります。

1.14 モーターの修理および調整

ブレンダーモーターには、ユーザーが調整したり修理したりできる部品はありません。保守および調整はすべて、Blendtecの有資格保守要員が行う必要があります。モーターベースのカバーを外したり、ブレンダーを修理したりすると、保証は無効になります。

1.15 装置の誤作動および損傷

ブレンダーが正しく作動しない場合、ブレンダーの使用をおやめください。Blendtecカスタマーサービス（国外の場合は、Blendtec有資格保守要員）までお電話にてお問い合わせください。何らかの状況でブレンダーが落下したり、破損したりした場合、ブレンダーをBlendtec有カスタマーサービス（国外の場合は、Blendtec有資格保守要員）に返却し、すぐに検査、修理、電気または機械調整、あるいは可能な交換をしてもらってください。

この説明書は将来の参照のため保存してください。

セクション2: コンポーネント概要

2.1 ブレンダーモーターベース

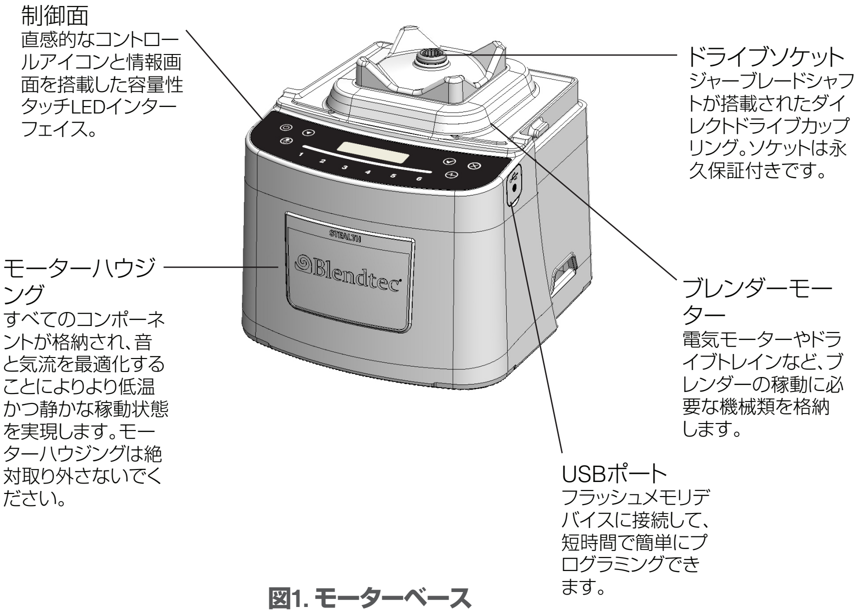


図1. モーターベース

2.2 制御面

点灯している容量性タッチの制御面は、直感的で使いやすいインターフェイスでブレンダーの微調整が可能です。

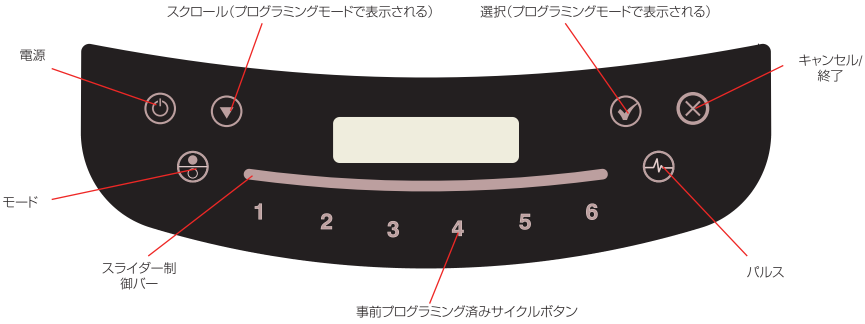


図2. 制御面

2.3 ブレンダージャーアセンブリ

蓋
使いやすく簡単に取り外しできるため、スピーディな操作が可能です。

ジャー
安全で耐久性が高い、BPA不使用のEastman Tritan™コポリエステル製で、その性能、安全性、および可視性を最適化します。

ブレードアセンブリ
ステンレス鋼製で、高速で安定した混合を実現するように設計されています。

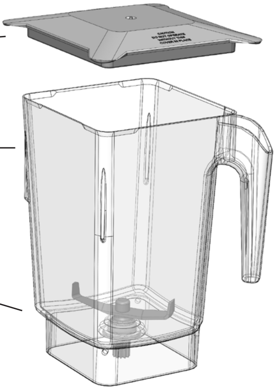


図3. ブレンダージャーアセンブリ

2.4 遮音器具

謝恩器具はブレンダー操作の騒音を減らすよう設計されているため、これまでになく静かなブレンダーの使用感をお楽しみいただけます。

図4. 遮音装置

2.5 電源仕様

Blendtec Stealthは、下記の電源仕様を採用しています。

モデル（110/120ボルト）	アンペア	ワット
Stealthカウンター上 (CQB)	15	1800
Stealthインカウンター (CQB)	15	1800

Blendtec 110/120-ボルトブレンダーは、専用の20-アンペア電流ブレーカーまたはヒューズで保護する必要があります。

モデル（220/240ボルト）	アンペア	ワット
Stealthカウンター上 (CQB)	8	1800
Stealthインカウンター (CQB)	8	1800

Blendtec 220/240-ボルトブレンダーは、専用の10-アンペア電流ブレーカーまたはヒューズで保護する必要があります。

セクション3: 開封

3.1 パッケージ内の品目

以下の梱包内容をご確認ください:

- Stealthブレンダーベース
- 蓋付きブレンダージャー
- 遮音器具

3.2 ブレンダーの開梱

- 箱からブレンダーモーターベース、遮音器具部品、ブレンダージャーおよび蓋を取り出します。
- 電源コードを伸ばします。
- ブレンダーモーターベースの換気口を塞いでいる梱包材料をチェックして、取り出します。
- すべての項目を点検し、輸送中に損傷がなかったことを確認します。
- 何らかの損傷が見られた場合、直ちにBlendtecカスタマーサービス（米国:1-800-BLENDTEC）またはBlendtecの有資格保守要員（米国外）にご連絡ください。

注:パッケージはすべて、将来の保管または発送用に保存してください。

3.2 シリアル番号および購入日の記録

ブレンダーベースのシリアル番号と購入日は下の余白に記録します。

ブレンダーシリアル番号: ____

購入日: ____

BlendtecまたはBlendtecの有資格保守要員に連絡する際は、この情報を参照してください。

セクション4: 据付

4.1 カウンター上据付

- ブレンダーの据付には、電源近くの場所を選択してください。成分との距離、客にどのくらい近づけるか、使用可能なカウンタースペース等についても考慮します。
- ブレンダー側面からの吸気と背面からの排気を妨げるものがないカウンター上の場所にブレンダーを置きます。
- 装置の上と周辺に十分なスペースを確保し、遮音器具が障害なく作動できるようにします（寸法については図5を参照）。
- 本機器を適切な電気的保護のあるコンセントに差し込みます。

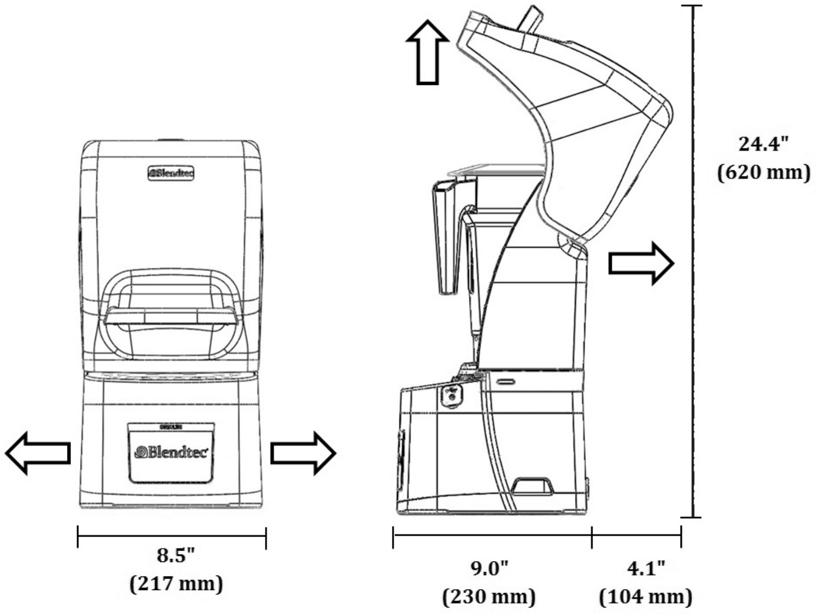


図5. ブレンダーの寸法

4.2 インカウンター据付の準備

注:Blendtec Stealthは、前のBlendtecインカウンターブレンダーと同じ場所に据え付けることができます。遮音器具に対して十分なスペースを確保してください（寸法については図5を参照）。

- 所定のブレンダー位置を確認します。成分との距離、客にどのくらい近づけるか、使用可能なカウンタースペース等について考慮します。コンセントが使いやすい場所にする必要もあります。
- 場所がすべての寸法要件に合致するようにしてください（図5および6を参照）。

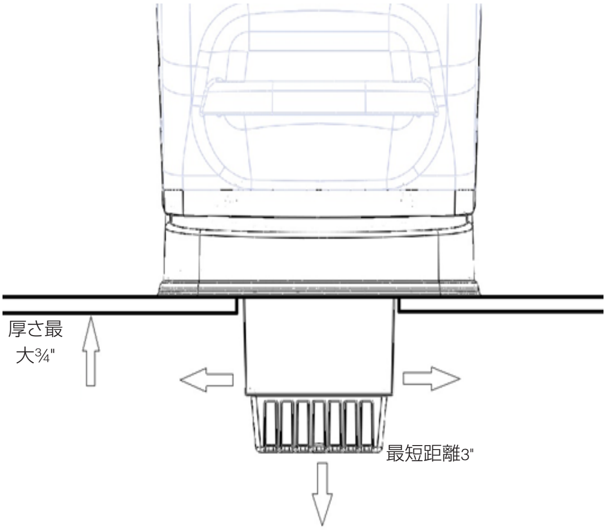


図6. インカウンター間隔

- ► カウンター上部は、¾" (19 mm)以上の厚さにはできません。カウンター上部がそれより厚いとモーター換気が妨げられます。
- ► ブレンダーを複数据え付ける場合は、センター間のブレンダースペースを14～506 " (356～406 mm) 空けるようにします。
- ► 遮音器具を据え付ける場合、遮音器具と壁の間に少なくとも5½" (140 mm) の隙間、カウンター上部からカウンター上のキャビネットまでの間に26" (660 mm) の隙間を空けるようにします。
- ► キャビネットが低くすことで気流が十分確保されるようにします。
  - ブレンダーは、モーターの上部にある穴に空気を取り込み、その後モーターの底の排気口から熱い空気を排気します。空気が十分モーター周辺を循環し、冷却できるようにすることが重要です。
  - キャビネットのカウンター上部から次の低棚まで少なくとも6½" (165 mm) のすき間を空け、モーターベース下部と低棚の間にスペースを3" (76 mm) 空けます。キャビネットは閉じないでください。キャビネットスペースの外部から内部に空気が自由に流れるようにします。プラスチックバッグ、カップ等は、モーターベース下部から3"（76㎜）より近づけないようにしてください。

- カウンター上に幅4³/₈" (111 mm) で長さ5⁷/₈" (149 mm) の穴を開けます（付録のカウンター穴テンプレートを参照）。4³/₈"の側は、操作担当者と平行になるようにしてください。

  注: 開ける**前**に、スペース要件および測定がすべて正しいことをダブルチェックしてください。

4.3 インカウンター据付

- カウンター上の穴に電気コードを通します。
- ブレンダー装置を穴にゆっくり入れます。
- ガスケットが、カウンター表面に対して平らになり、ハウジングによってはさまれないよう正しく配置されていることを確認します。
- 本機器を適切な電気的保護のあるコンセントに差し込みます。

セクション5: 操作

注:このセクションの情報の更新については、**www.blendtec.com/commercial/products/stealth_blender**を参照してください。

5.1 操作方法に関する説明

- 電源アイコン をタッチして、ブレンダーをオンにします。
- 遮音器具の蓋を持ち上げます。
- ブレンダージャーをモーターベースに置き、ジャーが完全に安定し、ジャーの蓋が閉まっていることを確認します。
- 遮音器具の蓋を閉めます。
- 制御面で希望するブレンドサイクル番号、パルスアイコン または、スライダー制御バーで希望するロケーションをタッチします。
- キャンセル/終了アイコン をタッチして、プログラミングした時間が経過する前にブレンドサイクルまたは手動操作を停止します。

5.2 自動サイクル操作

特に指定がない限り、Blendtecブレンダーは複数のブレンダープロファイルで事前プログラミングされており、ニーズに合わせてさまざまなブレンドサイクルが含まれています。Blendtecは、操作担当者が最小限のトレーニングと試行錯誤で安定した混合に到達するようにプログラミングされたブレンドサイクルを業界初で使用した会社です。Blendtec Stealthでは、42種類のブレンドサイクルから選択できます。Stealthで事前プログラムされた4つのプロファイルと対応するブレンドサイクルは次の通りです。

多目的プロファイル

ボタン1: ミルクシェーク（小）

ボタン2: グラニタ/ミルクシェーク（中）

ボタン3: マルガリータ（小）/アイスカプチーノ

ボタン4: スムージー（中） 4

ボタン5: スムージー（大） 4

ボタン6:50秒 @ 速度7

スムージーのプロファイル

ボタン1: 新鮮フルーツのスムージー（小）

ボタン2: スムージー（中） 4

ボタン3: グラニタ/ミルクシェーク（中）

ボタン4: スムージー（中）3

ボタン5: スムージー（大）4

ボタン6: 50秒 @ 速度7

コーヒーのプロファイル

ボタン1: マルガリータ（小）/アイスカプチーノ

ボタン2: アイスカプチーノ（大）

ボタン3: スラッシー/ミルクシェーク

ボタン4: グラニタ/ミルクシェーク（中）

ボタン5: スムージー（大）2

ボタン6:50秒 @ 速度7

ミルクシェークのプロファイル

ボタン1: ミルクシェーク（小）

ボタン2: グラニタ/ミルクシェーク（中）

ボタン3: 冷凍フルーツのミルクシェーク

ボタン4: ミルクシェーク（大）1

ボタン5: ミルクシェーク（大）2

ボタン6: ミルクシェーク（大）3

初めてブレンダーを起動すると、多目的プロファイルがアクティブになります。（アクティブプロファイルを変更するには、セクション5.4.1を参照してください。）プロファイルでブレンドサイクルの1つを使用するには、次のステップを実行します。

- モードアイコン ⚙ をタッチして、制御面に1～6の番号が表示されるようにすることで、自動操作モードに入ります（図7を参照）。LED画面は、現在選択されているプロファイルが示されます。（別のプロファイルをアクティブにするには、セクション5.4.1を参照してください。）
- 制御面で、希望するブレンドサイクルに対応する番号をタッチします。LED画面に時間カウントダウンが表示されます（サイクル終了までの秒数など）。
- サイクルを終了前に停止するには、⊗をタッチします。
- サイクル一時停止機能が有効な場合（セクション5.4.7.3を参照）、サイクルを一時停止してから再開することができます。
    - ► ブレンドサイクルを開始してから一時停止するには、制御面で適切なブレンドサイクル番号をタッチします。モーターが起動すると、制御面には選択したブレンドサイクルに対応するブレンドサイクル番号のみが表示されます。
    - ► サイクルを一時停止する必要がある時点で、ブレンドサイクル番号をタッチします。
    - ► サイクルを再開するには、ブレンドサイクル番号をもう一度タッチします。

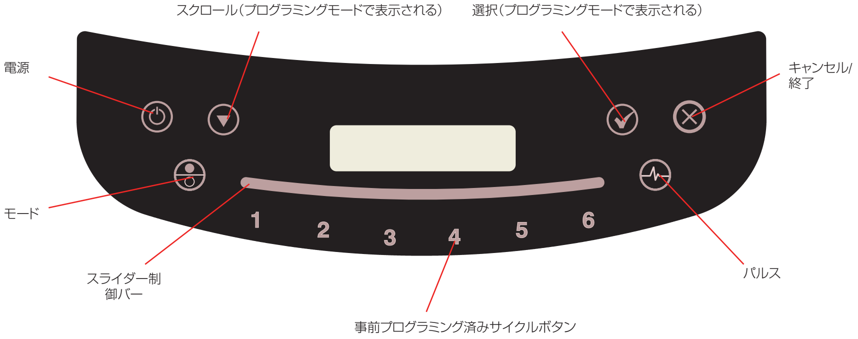


図7. 制御面

5.3 手動操作

Ⓜをタッチすると、自動操作モードから手動操作モードに切り替わります。手動操作モードでは、制御面の番号ボタンがスライダー制御バーに代わります。スライダー制御バーを使うと、バーにタッチして指をスライドさせるだけで希望する速度に調整できます。ブレンダーは、連続で90秒間作動します。手動操作モードでパルスを始動するには、Ⓟをタッチします。画面に「~パルス @ 速度7」と表示されます。次に、Ⓟを押したままにするとパルスが始動します。

5.4 上級プログラミングおよび診断

プログラミングモードでは次の操作を実行できます。

- プロファイルを選択する
- 事前プログラミングされたサイクル番号を変更する
- ブレンドサイクルカウントをチェックする
- 診断エラーログをチェックする
- Blentecのオンラインプログラミングツールを使って設計したカスタムプロファイルを使用する

プログラミングモードにするには、ⓧを3秒間押したままにします。矢印アイコン▼をスクロールすると、選択アイコン✓が制御面に表示され、LED画面にメインメニューが表示されます。▼と✓を使って、希望する機能を探して選択します。メインメニューで選択できるオプションは、次の通りです（ブレンダーには番号が表示されます）。

1. プロファイル
   (1.) 標準プロファイル
      1. なめらか
      2. コーヒー
      3. 多目的
      4. ミルクセーキ
   (2.) カスタムプロファイル

2. ブレンドサイクル
    (1.) 標準ブレンドサイクル
        1. スラッシー/ミルクシェーク
        2. グラニタ/ミルクシェーク(中)
        3. ミルクシェーク(小)
        4. 冷凍フルーツのミルクシェーク
        5. マルガリータ(小)/アイスカプチーノ
        6. 新鮮フルーツのスムージー(小)
        7. スムージー(中) 1
        8. アイスカプチーノ(大)
        9. サルサ
        10. スムージー(中) 2
        11. スムージー(中) 3
        12. スムージー(中) 4
        13. スムージー(大) 1
        14. スムージー(大) 2
        15. スムージー(大) 3
        16. スムージー(大) 4
        17. スムージー(大) 5
        18. ミルクシェーク(大) 1
        19. 50秒 @ 速度1
        20. 50秒 @ 速度2
        21. 50秒 @ 速度3
        22. 50秒 @ 速度5
        23. 50秒 @ 速度7
        24. 50秒 @ 速度9
        25. パルス@速度1
        26. パルス@速度2
        27. パルス@速度3
        28. パルス@速度5
        29. パルス@速度7
        30. パルス@速度9
        31. 生地
        32. 砕氷/ミルクシェーク
        33. スムージー(大) 6
        34. アイスクリーム
        35. すべてのジュース
        36. スープ
        37. 特濃スムージー 1
        38. ミルクシェーク(大) 2
        39. 特濃スムージー 2
        40. 特濃スムージー 3
        41. ミルクシェーク(大) 3
        42. 特濃スムージー 4
        43. ボタンを無効にする
    (2.) カスタムブレンドサイクル
3. サイクルカウント
4. 診断カウント
5. USBフラッシュドライブ
    (1.) プロファイルのインポート
    (2.) アクティブプロファイルのエクスポート
    (3.) カウントのエクスポート
6. 設定
    (1.) 遮音装置安全モード
    (2.) 画面スタンバイ
    (3.) ブレンドサイクル一時停止
    (4.) スライダーロックアウト
7. ブレンダー情報

注:サブメニューエリアからメインメニューに戻るには、メインメニュー画面が表示されるまで⊗をタップします。

5.4.1 希望するプロファイルを選択する

プロファイルを選択するには、次のステップを実行します。

- ⊗をタッチして3秒間押したままにし、プログラミングモードに入ります。制御面には▼と✓が表示され、LED画面にメインメニューが表示されます。
- 最初のメニュー項目は「プロファイル」です。✓をタッチして、このメニュー項目を選択します。
- 次に、装置で事前プログラミングされた標準プロファイルのいずれかを選択するには、✓をタッチして「標準プロファイル」を選択します。オンラインで設計されたカスタムプロファイル(セクション5.4.5を参照)を選択するには、▼をタッチして「カスタムプロファイル」までスクロールします。
- 標準またたカスタムプロファイルカテゴリを選択した後、▼をタッチしてカテゴリ内のプロファイルをスクロール表示し、✓をタッチして希望するプロファイルを選択します。
- LED画面には、選択したプロファイルと「これをアクティブなプロファイルにしますか?」という質問が表示されます。✓をタッチするとブレンダーがこのプロファイルでロードされ、⊗をタッチすると前のメニューに戻ります。

5.4.2 プログラミングされたサイクルボタンを変更する

希望するプロファイルをロードした後、次のステップを実行して、プロファイルでブレンドサイクルの1つを変更します。

- ⊗をタッチして3秒間押したままにし、プログラミングモードに入ります。制御面には▼と✓が表示され、LED画面にメインメニューが表示されます。
- ▼をタッチして、2番目のメニュー項目(「ブレンドサイクル」)にスクロールし、✓をタッチします。
- 次の画面で、1番目か2番目のオプションを選択します。1番目のオプション(「標準ブレンドサイクル」)には、ブレンダーで事前プログラミングされたサイクルが表示されます。2番目のオプション(「カスタムブレンドサイクル」)には、オンラインで設計でき、ブレンダーにエクスポートされたカスタムサイクル(セクション5.4.5を参照)が表示されます。✓をタッチして1番目か2番目のオプションを選択します。
- ▼をタッチして希望するサイクルまでスクロールし、✓をタッチします。
- LED画面で、制御面のどの番号をサイクルに割り当てるか訊ねられます。番号をタッチし、✓をタッチして選択したサイクルでボタンをプログラミングします。

番号ボタンがカスタマイズされて操作モードに戻ると、プロファイル名の最後にアスタリスク (*) が付き、1つ以上のボタンがデフォルトサイクル以外のブレンドサイクルに割り当てられたことを示します。

サイクルボタンが変更された後、ブレンダーに別サイクルがロードされ、前のプロファイルが再ロードされた場合、プロファイルは上記のステップで割り当てられたサイクルでなくデフォルトサイクルでロードされます。プロファイルを恒久的に変更するには、次のうちいずれかを実行します。

- 変更したプロファイルをUSBドライブにエクスポートし、次にブレンダーにインポートします。
- **www.blendtec.com/commercial/program**にあるツールを使ってプロファイルを編集し、それをブレンダーにエクスポートします（セクション5.4.5を参照）。

また、この方法を使ってプロファイルの番号ボタンを無効にすることもできます。

- ⊗をタッチして3秒間押したままにし、プログラミングモードに入ります。制御面にはⓥと✔が表示され、LED画面にメインメニューが表示されます。
- ⓥをタッチして、2番目のメニュー項目（「ブレンドサイクル」）にスクロールし、✔をタッチします。
- 次の画面で、1番目のオプション（「標準ブレンドサイクル」）を選択します。ⓥをタッチして、標準ブレンドサイクルの最後の項目（「ボタンを無効にする」）にスクロールし、✔をタッチします。
- LED画面で、制御面のどの番号を無効にするか訊ねられます。番号をタッチし、✔をタッチして選択した番号を無効にします。

自動操作モードに戻ると、プロファイル名の後にアスタリスク (*) が付き、1つ以上のボタンが無効化されたことを示します。さらに、無効化されたボタンは制御面に表示されなくなります。

サイクルボタンが変更された後、ブレンダーに別サイクルがロードされ、前のプロファイルが再ロードされた場合、すべてのボタンが有効な状態でプロファイルがロードされます。プロファイルのボタンを恒久的に無効にするには、次のうちいずれかを実行します。

- 変更したプロファイルをUSBドライブにエクスポートし、次にブレンダーにインポートします。
- **www.blendtec.com/commercial/program**にあるツールを使って番号ボタンを無効にし、それをブレンダーにエクスポートします（セクション5.4.5を参照）。

5.4.3 ブレンドサイクルカウントをチェックする

実行した合計サイクル数、各制御面番号に対して実行したサイクル数、パルスボタンを使用した回数、スライダー制御バーを使用した回数を確認することができます。（注:パルスカウントは、パルスセットを指します。たとえば、連続5回〜をタッチしても、パルスカウントは1回として登録されます。〜をタッチして、次にサイクル番号をタッチすると、〜は2回として登録されます。）

これらの数値をレビューするには、⊗をタッチして3秒間押したままにし、プログラミングモードに入ります。制御面にはⓥと✔が表示され、LED画面にメインメニューが表示されます。ⓥをタッチして3番目のオプション（「サイクルカウント」）までスクロールし、✔をタッチします。ⓥをタッチして、各カテゴリで実行したサイクル数を表示します。⊗をタッチして、前のメニューに戻ります。

5.4.4 診断エラーログをチェックする

ブレンダーに記録された診断エラーをレビューできます。レビューするには、⊗をタッチして3秒間押したままにし、プログラミングモードに入ります。制御面にはⓥと✔が表示され、LED画面にメインメニューが表示されます。ⓥをタッチしてメニュー項目4（「診断カウント」）までスクロールし、✔をタッチします。ⓥをタッチしてエラーカテゴリを参照し、各カテゴリで発生したエラー数を表示します。⊗をタッチして、前のメニューに戻ります。

5.4.5 Blentecのオンラインプログラミングツールを使って設計したカスタムプロファイルを使用する

ブレンダーで事前プログラミングされたプロファイルとサイクルを利用するだけでなく、現在のBlendtecサイクルまたはカスタムサイクルを含むカスタムプロファイルを作成し、会社特有のニーズにさらに細かく合わせることができます。カスタムプロファイルとサイクルの簡単な開発方法については、**www.blendtec.com/commercial/program**を参照してください。

5.4.5.1 カスタムプロファイルとサイクルをブレンダーにインポートする

オンラインの手順を実行し、カスタムプロファイルをUSBフラッシュドライブにエクスポートしたら、次のステップに従ってファイルをブレンダーにインポートします。

- プラスドライバを使ってブレンダーの右側面上部にあるUSBカバーを取り外します。
- USBフラッシュドライブをブレンダーのUSBポートに差し込みます。
- ブレンダーが手動または自動操作モードの場合、USBフラッシュドライブメニューがLED画面に自動表示されます。LED画面がすでにプログラミングモードである場合、メインメニューで▼をタッチしてメニュー項目5（「USBフラッシュドライブ」）にスクロールし、✓をタッチします。
- USBフラッシュドライブメニューで、✓をタッチしてオプション1（「プロファイルのインポート」）を選択します。
- ▼をタッチしてフラッシュドライブ内の項目を参照し、希望するカスタムプロフィルファイル（デフォルト名は「stealth.bpf」）を探します。（注:プラス記号 (+) が横にある項目はフォルダです。カスタムプロファイルファイルがフォルダにある場合、✓をタッチしてフォルダを開き、フォルダ内のファイルを表示します。）✓をタッチして希望するオプションを選択します。
- LED画面に、選択したファイルをインポートするかどうかという質問が表示されます。✓をタッチして、インポート処理を開始します。ファイルがインポートされると、ファイル内のプロファイルがアクティブなプロファイルとしてブレンダーに自動的にロードされます。
- ブレンダーからUSBドライブを取り外して、プラスドライバを使ってUSBポートにUSBカバーをしっかり固定します。

5.4.5.2 ブレンダーのセキュア機能を使用する

www.blendtec.com/commercial/programでプロファイルを作成または変更する際、オプションの1つにブレンダーのセキュリティ保護があります。このオプションを選択した場合、プロファイルをUSBドライブにダウンロードしてブレンダーにインポートすると、上級プログラミングオプションのいくつかが無効化されます。セキュリティ保護されたプロファイルはブレンダーでアクティブなプロファイルであり、別のプロファイルをアクティブなプロファイルにしすることも、ブレンダーに新しいプロファイルをインポートすることもできなくなります（オンラインアカウントで作成した場合は例外）。さらに、プロファイルのブレンドサイクルはブレンダーで変更できず、ブレンダーの遮音装置安全設定、スタンバイ時間およびブレンドサイクル一時停止設定も変更できません。これらの機能のロックを解除するには、次のステップを実行します。

- **www.blendtec.com/commercial/program**で自分のアカウントにログインします。
- セキュリティ保護されたプロファイルを編集し、セキュアブレンダーモードをオフにするオプションを選択するか、またはセキュアブレンダーモードをオフにした状態で新しいプロファイルを作成します。
- プロファイルをUSBドライブにインポートし、セクション5.4.5.1の指示に従ってファイルをブレンダーにインポートします。

5.4.6 プロファイルおよびブレンダー統計をエクスポートする

プロファイルとブレンダー統計（サイクルカウント、エラー、設定およびファームウェアバージョン）をUSBフラッシュドライブにエクスポートすることもできます。プロファイルをUSBドライブにエクスポートしたら、**www.blendtec.com/commercial/program**に転送することができます。プロファイルをBlendtecのプログラミングウェブサイトに転送することにより、他の場所にいる会社担当者がプロファイルにアクセスできるようになります。これらの担当者はプロファイルをUSBフラッシュドライブにエクスポートして、現場のStealthブレンダーにインポートできます。ブレンダー統計をエクスポートすると診断情報を保存できるため、ブレンダーに不具合が発生した場合、Blendtecのカスタマーサービスおよび修理担当者がこれを利用してサービスにあたることができます。

5.4.6.1 プロファイルをエクスポートおよび転送する

プロファイルをエクスポートして、Blendtecのプログラミングウェブサイトに転送するには、次のステップを実行します。

- エクスポートするプロファイルがブレンダーのアクティブプロファイルであることを確認してください。
- プラスドライバを使ってブレンダーの右側面上部にあるUSBカバーを取り外します。
- USBフラッシュドライブをブレンダーのUSBポートに差し込みます。
- ブレンダーが手動または自動操作モードの場合、USBフラッシュドライブメニューがLED画面に自動表示されます。LED画面がすでにプログラミングモードである場合、メインメニューで▼をタッチしてメニュー項目5（「USBフラッシュドライブ」）にスクロールし、✓をタッチします。
- USBフラッシュドライブメニューで、▼をタッチしてオプション2（「アクティブプロファイルのエクスポート」）を選択し、✓をタッチしてそのオプションを選択します。
    - ► ファイルをエクスポートする先のUSBフラッシュドライブに（プロファイルがそのUSBフラッシュドライブにエクスポート済みのため）sth-prof.bpfファイルがすでに含まれている場合、LED画面にアクティブなプロファイルをUSBフラッシュドライブにエクスポートして、既存のsth-prof.bpfファイルを上書きするかどうかという質問が表示されます。USBフラッシュドライブのファイルを上書きする場合、✓をタッチしてエクスポート処理を開始します。USBフラッシュドライブのファイルを上書きしない場合、⊗をタッチします。
    - ► ファイルをエクスポートする先のUSBフラッシュドライブにsth-prof.bpfファイルが含まれていない場合、LED画面にアクティブプロファイルをUSBフラッシュドライブにエクスポートするかどうかという質問が表示されます。✓をタッチして、エクスポート処理を開始します。⊗をタッチして、前のメニューに戻ります。
- エクスポート処理が完了したら、ブレンダーからUSBドライブを取り外して、プラスドライバを使ってUSBポートにUSBカバーをしっかり固定します。

- USBフラッシュドライブをコンピュータのUSBポートに挿入して、**www.blendtec.com/commercial/program**を参照してください。サイト上の指示に従って、プロファイルをサイトに転送します。

5.4.6.2 ブレンダー統計をエクスポートする

ブレンダー統計をUSBドライブにエクスポートするには、次のステップを実行します。

- プラスドライバを使ってブレンダーの右側面上部にあるUSBカバーを取り外します。
- USBフラッシュドライブをブレンダーのUSBポートに差し込みます。
- ブレンダーが手動または自動操作モードの場合、USBフラッシュドライブメニューがLED画面に自動表示されます。LED画面がすでにプログラミングモードである場合、メインメニューで▽をタッチしてメニュー項目5(「USBフラッシュドライブ」)にスクロールし、✔をタッチします。
- USBフラッシュドライブメニューで、▽をタッチしてオプション3(「カウントのエクスポート」)を選択し、✔をタッチしてそのオプションを選択します。LED画面に、「カウントをsth-cnts.csvファイルにエクスポートしますか?」という質問が表示されます。✔をタッチして、エクスポート処理を開始します。
- エクスポート処理が完了したら、ブレンダーからUSBドライブを取り外して、プラスドライバを使ってUSBポートにUSBカバーをしっかり固定します。

5.4.7 ブレンダーの設定:遮音装置安全モード、スタンバイ時間、ブレンドサイクル一時停止およびスライダーロックアウト

また、遮音装置安全機能の有効化/無効化、ブレンダーがスタンバイモードに切り替わるまでの時間変更およびブレンドサイクル一時停止機能の有効化/無効化など、ブレンダーのさまざまな設定を変更するオプションもあります。これらの機能については以下に説明があります。

5.4.7.1 遮音装置安全モード

遮音安全機能は、モーター作動中に遮音装置の蓋がしっかり閉まっているかどうかを確認します。遮音装置安全モードが有効な場合、制御面をタッチしてモーター作動を始動し、遮音装置の蓋が閉まっていなければ、LED画面に「蓋が開いています。ブレンダーを起動しますか?」というメッセージが表示されます。蓋を閉めてモーターを起動するか、または蓋を開けた状態でブレンダーを起動するには✔をタッチします。遮音装置の蓋を閉じてモーターを起動した場合、操作中に蓋を持ち上げると、モーターが停止します。

遮音装置安全機能を有効/無効にするには、次のステップを実行します。

- ⊗をタッチして3秒間押したままにし、プログラミングモードに入ります。制御面には▽と✔が表示され、LED画面にメインメニューが表示されます。
- ▽をタッチしてメニュー項目6(「設定」)までスクロールし、✔をタッチします。
- ✔をタッチしてオプション1(「遮音装置安全モード」)を選択します。
- ✔をタッチすると、遮音装置安全モードが有効/無効に切り替わります。
- ⊗をタッチして、前のメニューに戻ります。

5.4.7.2 画面スタンバイ時間

ブレンダーがスタンバイモードに切り替わるまでの時間を変更できます(15分、1時間、6時間、または12時間)。新しいスタンバイ時間を選択するには、次のステップを実行します。

- ⊗をタッチして3秒間押したままにし、プログラミングモードに入ります。制御画面には▼と✓が表示され、LED画面にメインメニューが表示されます。
- ▼をタッチしてメニュー項目6(「設定」)までスクロールし、✓をタッチします。
- ▼をタッチしてオプション2(「画面スタンバイ」)までスクロールし、✓をタッチします。
- ▼をタッチして、希望するスタンバイ時間までスクロールします。✓をタッチして、希望するオプションを選択します。
- ⊗をタッチして、前のメニューに戻ります。

5.4.7.3 ブレンドサイクル一時停止

ブレンドサイクル一時停止機能を使用すると、ブレンドサイクルを自動モードで始動し、サイクルを一時停止し(材料を追加するためなど)、そしてサイクルが一時停止した時間と速度でサイクルを再開することができます。たとえば、「ミルクシェーク(小)」ブレンドサイクルで始動し、サイクル残り時間があと30秒の時点で一時停止した場合、サイクルを開始しても残り30秒と対応するブレンド速度はそのままです。ブレンドサイクル一時停止機能が無効の場合、ブレンドサイクルは一時停止できず、停止のみが可能となります(⊗をタッチ)。

ブレンドサイクル一時停止機能を有効/無効にするには、次のステップを実行します。

- ⊗をタッチして3秒間押したままにし、プログラミングモードに入ります。制御画面には▼と✓が表示され、LED画面にメインメニューが表示されます。
- ▼をタッチしてメニュー項目6(「設定」)までスクロールし、✓をタッチします。
- ▼をタッチしてオプション3(「ブレンドサイクル一時停止」)までスクロールし、✓をタッチします。
- ✓をタッチすると、ブレンドサイクル一時停止機能が有効/無効に切り替わります。
- ⊗をタッチして、前のメニューに戻ります。

5.4.7.4 スライダーロックアウト

スライダーロックアウト機能を使うと、手動操作(制御面のスライダーバーなど)ができなくなります。この機能が有効な場合、ブレンダー上のプロファイルのみがブレンダー操作に使用できます。この機能を有効/無効にするには、次のステップを実行します。

- をタッチして3秒間押したままにし、プログラミングモードに入ります。制御画面には▼と✓が表示され、LED画面にメインメニューが表示されます。
- ▼をタッチしてメニュー項目6(「設定」)までスクロールし、✓をタッチします。
- ▼をタッチしてオプション3(「スライダーロックアウト」)までスクロールし、✓をタッチします。
- ✓をタッチすると、スライダーロックアウト機能が有効/無効に切り替わります。
- ⊗をタッチして、前のメニューに戻ります。

セクション6: トラブルシューティング

Stealthの問題をトラブルシューティングするには、ここを参照してください。次の解決方法に従っても問題が解決されない場合、米国内のお客様はBlendtecカスタマーサービス（1-800-BLENDTEC）、国外のお客様はBlendtec有資格保守要員にお問い合わせください。

通電しない（ブレンダーモーターがオンにならない）

- 装置が電源に接続されていることを確認します。
- 建物の電流ブレーカースイッチまたはフューズをチェックして、[オン] の位置に設定されていることを確認します。
- 電源コードを外し、もう一度差し込みます。

タッチエラー

制御面ボタンの横のスペースにタッチすると、「タッチエラー」メッセージが表示されます。このメッセージを回避するには、希望するボタンの中央をタッチしてください。

エラー:過温.状態が検出されました

ブレンダーを電源から抜き、エラーメッセージがリセットするまで冷却します。過温は極端な使用方法が原因で、連続して使用するとモーターが恒久的に損傷する恐れがあります。

エラー:過負荷状態が検出されました

- ジャーを外し、ブレンダーを始動して問題がジャーとモーターのどちらに起因しているか確認します。
- ジャーを取り除いた状態で、モーバーベースのソケット、およびジャーのブレードアセンブリ内または周辺に詰まっている箇所がないかどうかチェックします。
- エラーをリセットします。⊗をタッチするか、または電源コードを抜いてからまた差し込むことで電源を入れなおします。
- モーターベース上にジャーをしっかり置き、 をタッチして混合物内でブレードをパルス動作させます。
- ジャーに極端に硬かったり密度の濃い成分が入っていないことを確認します。

エラー: 温度センサーが検出されません
エラー: ゼロ交差が検出されません
エラー: リセットエラーが検出されました
エラー: 書き込み/読み出しエラーが検出されました
エラー: モーター制御エラーが検出されました
エラー: タッチコントローラが検出されません
エラー: タッチコントローラ出力が無効です

エラーをリセットします。⊗をタッチするか、または電源コードを抜いてからまた差し込むことで電源を入れなおします。

ノイズレベルの顕著な変化

ノイズがモーターベースとジャーのどちらから発生しているかを判断します。

モーター:モーターベースからジャーを取り外し、モーターを始動します。異常に大きなノイズがする場合は、Blendtecカスタマーサービス(国外の保守については、Blendtec有資格保守要員)にご連絡ください。

ジャー: ベース上のジャーに約16オンス (475 ml) の水を入れます。を使用してモーターを数秒間作動させます。ジャーを交換して、特定のジャーを使用した場合に音が変化するかどうかを確認します。ジャーから異常に大きいノイズが発生している場合、またはブレードアセンブリが緩んでいるか、または手で回転させたときに「砂利のような」音がする場合は、Blendtecカスタマーサービス(国外の場合はBlendtec有資格要員)にご連絡ください。

混ざらない、または混ざり具合に問題がある

- 成分が冷たすぎたり、濃度が高すぎると、ブレンダーのブレードがエアポケットで空回りする可能性があります。これは空洞と呼ばれます。氷の量を減らして液体の量を増やしたり、または成分が10SDgrF (-12SDgrC)を下回らないように調整することにより、この問題を是正します。
- サイクル時間を延ばします。成分がよく混ざっていても、完全に混ぜ合わせる時間が十分ではなかった場合、サイクルを長めにするか、またはを使って混合時間を追加します。
- ブレンダーベースにジャーがしっかり固定されていることを確認します。
- ブレードがドライブシャフトにしっかり固定されていることを確認します。片手でドライブシャフトを押さえながら、もう一方の手でブレードを回転させます。(ブレードは鋭利なため注意してください。)ドライブシャフトが回らないのにブレードが回転する場合は、Blendtecカスタマーサービス(国外の保守については、Blendtec有資格保守要員)にご連絡ください。

制御面が反応しない

- 湿った布で制御面を拭き、表面の液体や粒子を取り除きます。
- 電源コードを外し、もう一度差し込みます。

セクション7: お手入れ

7.1 ブレンダージャーの毎日のお手入れ

- ジャーに温水1カップと液体洗剤1～2滴を入れます。
- ジャーの蓋をしっかり閉めます。モーターベース上にジャーを置き、13秒間を押します。
- ジャーと蓋に残った洗剤をきれいな水ですすぎます。
- ジャーを逆さにして保存する場合、洗浄後にジャーからあふれた水は振って落とします。

注: WildSide™とFourSide™ジャーは、必要に応じて積み上げて保管できます。

7.2 ブレンダージャーの長期的消毒

- ブレンダージャーに、メーカー仕様に合わせて希釈した消毒液を入れ、定期的にジャーを消毒します。希釈が適切であれば、漂白剤を使用できます。
- 希釈した消毒液をブレンダージャーに5分間入れたままにします。
- 消毒液を廃棄します。
- ジャーを逆さにして保存する場合、洗浄後にジャーからあふれた水は振って落とします。

7.3 モーターベースと遮音装置のお手入れ

- ブレンダーが電源から抜かれていることを確認してから、洗浄します。
- 必要に応じて、洗浄のために遮音装置を次の方法で取り外します。
- 遮音装置の蓋を開け、ピボットジョイント位置で両手を使って蓋を外側に引っ張ります（図8を参照）。このステップでは、プラスチックが取り付けタブから外れるように柔軟にします。

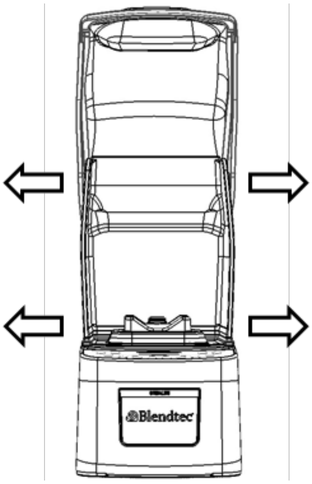


図8. 遮音装置の取り外し

遮音装置ベースも、同様に外側に引っ張ることで外壁を柔軟にして取り付けタブから外れるようにし、取り外すことができます（図8を参照）。

- モーターベース、ガスケット、金属製の上部と遮音装置を清潔な湿った布で拭き取ります。中性、多目的の表面を傷つけない洗剤を使用してください。
- 綿モップやつま楊枝でドライブソケットを洗浄できます。

7.4 洗浄上のヒントと注意事項

- 表面の光沢がなくなったり、傷が付いたりしますので、ブレンダーベースやジャーは研磨剤で洗浄しないで ください。
- 種類に関わらず水噴射を使用してモーターベースを洗浄しないでください。
- モーターベースは絶対水中に入れないでください。保証が無効になります。

- ブレンダージャーを5分以上浸けないでください。下部ジャーシール部分から水が浸透すると、ジャーの耐用年数が短くなります。ジャーを逆さにして保存する場合、洗浄後にジャーからあふれた水は振って落とします。
- ジャーを長期間保管する場合、ジャーの内部と外部の両方に、食用オイル少々（植物性オイル等）をブレードアセンブリ周辺のシール部分に付けます。

セクション8: 保証と保守

8.1 保証に関する説明

詳細については、保証カードをご覧ください。

8.2 水による損傷および不正使用

モーターベースに水分が入らないようにすることは不可欠です。モーターベースは水分が入らないように設計されています。ただし、大量に漏れたりお手入れの方法が適切でない場合（セクション7を参照）、モーターハウジングに水分が入ってしまう可能性があります。モーターのカウンター周囲や遮音器具ベース（使用している場合）の下に少しでも水がこぼれたら、すぐにふき取ることが重要です。そうしないと、モーターに水分が入り込み、早期故障の原因となります。このような故障の原因は、不正使用とみなされ保証対象とはなりませんのでご注意ください。

8.3 購入国

保証は、認可された販売代理店から装置を購入した国でのみ有効です。購入国以外で装置を使用すると、すべての保証内容（明示か暗示かに関わらず）が無効となります。お客様が元の販売国以外の国にあるサービスセンターの使用を選択した場合、装置を修理して返送するのにかかる部品、労務、配送、関税、税金などの費用を支払ってもらうことになります。

8.4 保守手順

Blendtecブレンダーの使用中に何らかの不具合が生じ、セクション7のトラブルシューティング手順に従っても解決しない場合、Blendtecカスタマーサービス（国外の保守については、Blendtec有資格保守要員）に速やかに連絡し、問題の診断を依頼してください。問題の概要と合わせて、シリアル番号をご準備ください。自分で修理しないでください。Blendtec有資格保守要員以外の人物が修理を行った場合、保証は無効となります。問題の中には、電話で簡単に、すぐに解決できるものがたくさんあります。電話で問題が解決しない場合は、交換が必要になる場合があります。

保証期間内の場合、Blendtecは無償でブレンダーの修理または交換を致します。表面の損傷や乱用は保証外です。

保証期間外で機器の修理を希望する場合は、Blendtecカスタマーサービス（国外の場合は、Blendtec有資格保証要員）にお問い合わせの上、指示を受けてください。この場合の保守料金はお客様負担となります。

ブレンダーをBlendtecカスタマーサービスまたは有資格保守要員に送付する場合（保証期間内外に関わらず）、次ページのフォームを同封してください。

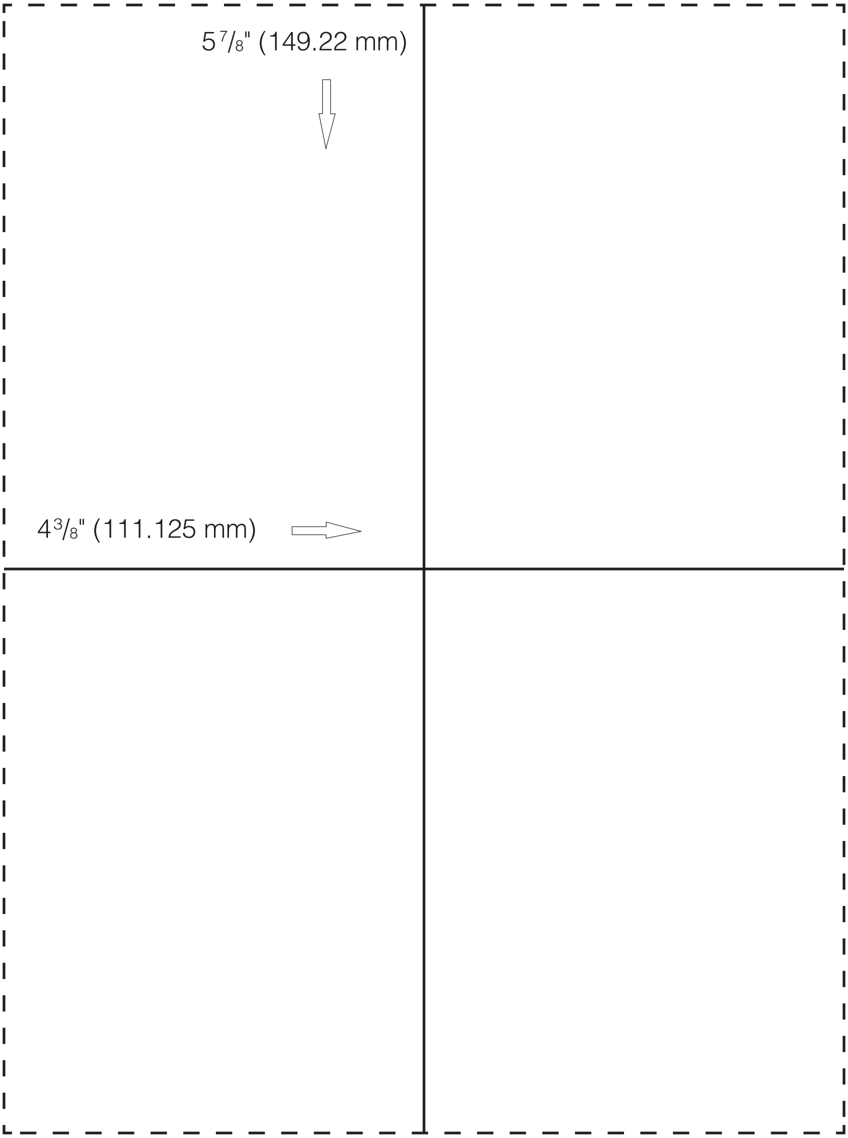
ブレンダー修理/交換時の送付フォーム

（このフォームをコピーしてください。）

名前:	
会社:	店舗番号:
住所:	
電話番号:	
シリアル番号（モーターベース下側に記載）	
サイクルカウント（セクション5.4.3を参照）	
購入日:	購入場所:
問題に関する説明:	

このページは空白です。

付録: カウンター上部穴テンプレート



1206 S. 1680 W.
Orem, UT 84058 USA
1-800-BLENDTEC
blendtec.com/commercial
©2012 K-TEC Inc., 複製を禁止します。Blendtecは、K-TEC Inc.の登録商標です。

OWN-CN-150 Manual, Owners, Stealth, Japanese Rev 02